

## 周辺環境に優しく経済性に優れた斜面表層崩壊対策工法 ESネット工法

NETIS登録番号：(旧) KK-120057-VE

## 地山補強ネット工法研究会

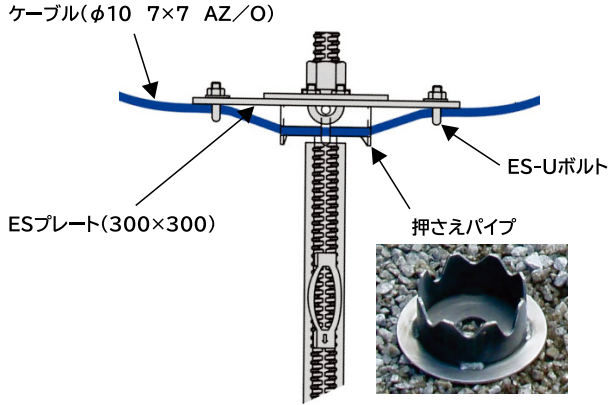
〒564-0063 大阪府吹田市江坂町1-16-8 (ライト工業株) 西日本支社内)

TEL 06-6385-3441 FAX 06-6368-2848

URL <https://www.jiyamahokyou.net.jp/>

mail [raito-osaka@raito.co.jp](mailto:raito-osaka@raito.co.jp)

[研究会員] サンヨー緑化産業株式会社、株式会社東海リアライズ、株式会社山口リアライズ、ライト工業株式会社、日鉄鋼建材株式会社



構成イメージ



樹木を残した施工例

### 概要

ES (Earth Sewing) ネット工法は、表層すべりが想定される自然斜面や法面に適用できる表層崩壊対策工法である。格子状に配したケーブルと交点部に打設したロックボルトで構成される。頭部締め付け時に、押さえパイプを介して地山にケーブルを押し込むことにより、地山表面の緩みを抑制する。

### 特長

#### 1. 環境に配慮

ケーブルを現地加工して使用するため、自然斜面でも樹木を残した施工が可能である。

#### 2. 地山の緩みを主導的に防止

ロックボルトを地山へ押し込むことで、連結されたケーブルが地山を緊縛し、土塊を主導的に押さえ込むため、崩壊防止効果が高い工法である。

#### 3. 表層土砂の流出を防止

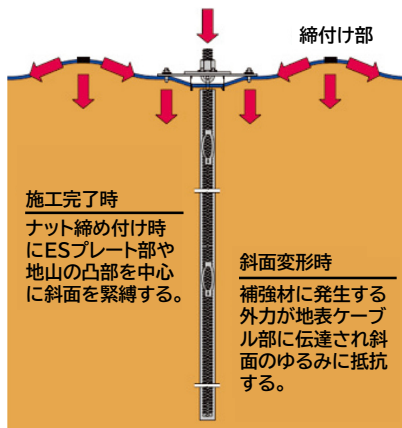
ケーブルを地山へ密着するように敷設するため、高い表流水の分散効果、表層土砂の流出防止効果が得られる。

#### 4. 経済的かつ高い施工性

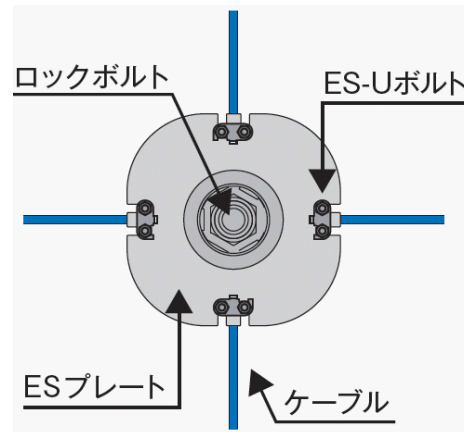
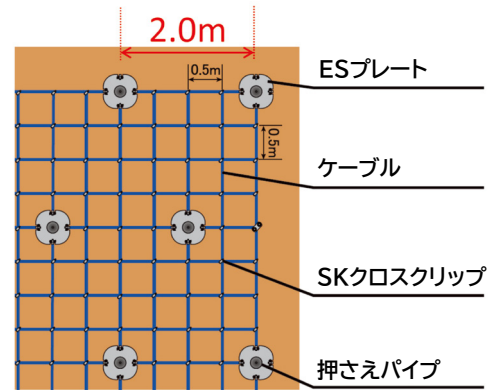
部材が軽量・簡易であるため、施工性が高く経済性に優れた工法である。

#### 5. 地山掘削が不要

斜面の凸凹に対応できるため、地山掘削が不要であり、地形改変を最小限にできる環境に優しい工法である。



### 製品仕様



### 施工手順(一例)



押さえパイプ設置状況

SKクロスクリップ設置状況